

平成30年11月12日

保護者の皆様

札幌市立南白石小学校
校長 岡本 康太郎

全国学力・学習状況調査の「結果」及び「改善」について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、4月に行いました「全国学力・学習状況調査」について、本校の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。なお、この調査結果は、子どもの学力の特定の一部分であり、この結果だけで学力を表すものではありません。学校では、この調査結果をもとに指導方法等の工夫改善をしております。保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

「全国学力・学習状況調査」は、国語と算数と理科の3教科で行いました。国語と算数はそれぞれに、A問題とB問題があり、次の内容で出題されています。

- 国語・算数A：基礎的・基本的な内容
- 国語・算数B：学習したことを生かして問題解決する内容
- 理科：基礎的・基本的な問題と発展的な問題を一体とした内容

南白石小の学力は、3教科全般的に全国平均とほぼ同じか上回っている状況にあります。その中から課題になる部分と改善の方向について分析いたしました。

【南白石小の国語】

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「話すこと・聞くこと」
・全国平均を上回っている。
- 「書くこと」
・全国平均を下回っている。
- 「読むこと」
・全国平均を上回っている。
- 「言語事項」
・全国平均を下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「話すこと・聞くこと」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「書くこと」
・全国平均より下回っている。
- 「読むこと」
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。
- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考えること。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。

改善の方向

- 互いの発言の意図を理解することの大切さに気づき、互いの考えを基にして、考えを広げたり、まとめたりすることができるような話し合い活動の充実。
- 時間の流れや内容、出来事の順序などに着目して、文章全体の構成の効果を考えて物語を書く活動の充実。
- 漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりする指導の充実。

【南白石小の算数】

小学校
算数

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「数と計算」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「量と計算」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「図形」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「数量関係」
 - ・全国平均を上回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

- 「数と計算」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「量と測定」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「図形」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「数量関係」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

- 小数の乗法の意味について理解していること。
- 直径の長さと同周の長さの関係について理解していること。
- 示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断すること。
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができ、適切に判断すること。

改善の方向

- 問題場面を図や数直線等を用いて、数量関係を的確に捉えて演算決定をし、立式できるようにする指導の工夫。
- 実際に円の直径の長さと同周の長さを測定する活動を取り入れた指導の充実。
- 事象の中に含まれる複数の情報を解釈し、様々な情報を表やグラフ、式などに表しながら考察をする活動の充実。

【南白石小の理科】

小学校
理科

本校の概要

【区分及び領域】

各領域の問題

- 「物質」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「エネルギー」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「生命」
 - ・全国平均を上回っている。
- 「地球」
 - ・全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

- 人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できること。
- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解していること。
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を水に溶かして体積が増えた食塩水に適用することができること。

改善の方向

- 主体的な問題解決の活動を通して獲得した知識を、自然や日常生活などの他の場面に適応して考える際、図や模型等を用いる等の学習の場の工夫。
- 観察・実験から得られた結果を基に、「事実」と「解釈」を示しながら、科学的な言葉で説明するなどの活動の充実。
- 既習の内容や生活経験と関連付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えるような活動の充実。

【南白石小の児童質問紙から】

教科の学力調査以外に、子どもたちの生活習慣や学習環境に関する質問調査も併せて行われ、児童の実態把握のために活用されます。

○全国平均より肯定的な回答が多かった質問

- ・将来の夢や目標はもっていますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ・家で、学校の勉強の予習・復習をしていますか。
- ・家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか。
- ・算数の勉強は大切だと思いますか。
- ・算数の授業の内容はよく分かりますか。

◆全国平均より肯定的な回答が少なかった質問

- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。



南白石小の児童は、全国の小学生たちと比べても、将来の夢をもち、人の役に立つ自分の姿をイメージしている子が多く、自己肯定感の高い傾向にあるようです。また、家での学習習慣が定着している子が多く、学習に前向きに取り組んでいる子が多いと言えます。

ただ、地域への行事やボランティア活動などへの参加経験が少ない傾向にあるようです。人とのつながりを大切にできる南白石小の子どもたちに、地域とのつながりを意識できるような取組ができるようにと考えます。

